

他力 一任職便り



第七号（平成二十四年三月）
専徳寺住職 弘中満雄

※今回からタイトルを「他力」とします。他力とは阿弥陀様の「必ず救う」という願いの力（本願力）の事です。

拝啓 弥生の候、弥陀の慈光に生かされる日々、ご門徒の皆様には心安らかに過ごすごしのことと拝察申し上げます。

次男の名爾めいじは、もうすぐ一歳です。ようやく立ち上がるようになりました。誤飲は少なくなりましたが、机のものをとってはヨダレまみれにする回数が増え、ますます目が離せない状態です。長男の慈生じしよう、長女の南歩なほも元気いっぱい。一日中、スタミナがきれるまで遊んでいます。

今月で、龍大の非常勤講師の職務は終了しました。一年間、学生達との交流で得た経験をお寺に生かしてまいります。なお、まだ宗学しゅうがく院いん（本山の研究機関）の研究員ではあります。月に一・二度、京都に参ります。ご迷惑おかけします。

宗祖の大遠忌が終わり、新たなスタートです。在家の仏教化、すなわち「生活の中に流れる仏法の喜び」をこ一緒に味わってまいりたく存じます。合掌

土曜学校生募集

専徳寺土曜学校では4月からの新入生を募集しています。新一年生はもちろん、何年生でも大歓迎です。月に一度お寺の本堂で、お勤めをし、仏さまの話聞き、ゲームを楽しんだりします。お子さんやお孫さんには是非お勧めください。まずは電話（38-1124）ください。お待ちしております。

※4月は14日（土）。

時間は8時半～10時です。

